

セーフコミュニティ きたもと

Vol. 1

セーフコミュニティとは？

「ケガやそれを引き起こす事故は偶然に起こるものではなく、予防することができる」という理念のもと、行政・地域・警察・家庭・学校などすべての関係者が分野横断的に連携・協働して安心安全に暮らすことのできるまちづくりを進めていくことです。

◆問合せ
協働推進課 セーフコミュニティ担当
(直通 594-5571)

今年1月27日、北本市は「セーフコミュニティの認証取得に向けて活動を行う」と宣言しました。

セーフコミュニティの活動は、市民の皆さんと一緒に取り組みを行っていくものになります。これから取組状況や地域の活動事例などをこの「セーフコミュニティ きたもと」でお伝えしていきます。

第1回目の今回は、「そもそもセーフコミュニティって何だろう?」といったところから、始めたいと思います。

この問いは、一番多くされる質問でありながら、端的にお答えするのが難しい質問でもあります。

なぜなら「セーフコミュニティ」の活動は、非常に広範囲にわたっていて、簡潔にお答えすると漠然としていてイメージがつかめず、一つ一つの活動を説明すると大変な量となり、これまた全体像がつかめないといった結果になるからです。

セーフコミュニティのはじまり

1970年代後半にスウェーデンの大学の先生の「ケガや事故等は、決して偶然の結果ではなく、原因を究明することで予防できる」という考えのもと、活動を始め、世界保健機関(WHO)がこの活動を認め協働センターを作りました。

1989年にこの考え方の発祥の国スウェーデンで最初のコミュニティが認証を受け、今では世界で274の団体が認証を受け、さらに250くらいの団体が北本市と同じように取組宣言を行い、認証に向けた取組みを行っています。

第1回北本市 セーフコミュニティ 推進協議会の開催

7月18日、市内で活動されている安心安全に関係する多くの団体の人に分野の垣根を越えて参加していただいて、発足しました。第1回の会議では、セーフコミュニティの活動の進め方などについて議論され、各団体が連携して「安心安全なまちづくり」を推進していくことを確認しました。会議の後半では、日本セーフコミュニティ推進機構の代表理事である白石陽子先生にセーフコミュニティについての講演をしていただきました。